

エイズ対策

概要

エイズ対策の概要

資料編

② 保健医療

エイズ対策

原因の究明・発生の防止
予防及びまん延の防止

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1 エイズ発生動向調査 | 9 保健所における血液検査の迅速化
(検査機器等の整備) |
| 2 血液凝固異常者実態調査事業 | 10 保健所の個室相談室の整備 |
| 3 HIV感染者等保健福祉相談事業 | 11 検査体制維持強化 |
| 4 エイズ患者等に対する社会的支援事業 | 12 検疫所でのHIV検査実施 |
| 5 個別施策層対応手引書作成 | 13 エイズに関する教育・研修 |
| 6 ボランティア指導者育成事業 | 14 保健所等におけるHIV検査・相談事業 |
| 7 相談員養成研修事業 | |
| 8 相談体制維持強化 | |

医療の提供

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 エイズ治療のための個室病室等の整備 | 8 エイズ治療・研究開発センター運営 |
| 2 エイズ治療拠点病院に対する医療機器等の整備 | 9 医師、看護師、検査技師研修 |
| 3 エイズ治療拠点病院診療支援事業 | 10 HIV診療医師情報網支援事業 |
| 4 エイズ治療研究情報網整備 | 11 歯科医療関係者感染症予防講習 |
| 5 エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修 | 12 医療提供体制確保 |
| 6 エイズ治療拠点病院地域別病院長会議の開催 | 13 血友病患者等治療研究 |
| 7 地方ブロックの拠点病院整備促進事業 | |

研究開発の推進

- | | |
|--------------------------------------|-------------------|
| 1 エイズ対策の研究 | 5 外国人研究者招聘等研究推進事業 |
| 2 政策創薬総合研究 | 6 エイズ研究センター運営 |
| 3 エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業 | 7 共同利用型高額研究機器整備 |
| 4 エイズ・結核合併症治療研究事業 | |

国際的な連携

- 1 アジア地域エイズ専門家研修事業
- 2 国連合同エイズ計画への拠出
- 3 エイズ国際協力計画の検討
- 4 開発途上国ワークショップ開催
- 5 エイズ国際会議研究者等派遣事業

人権の尊重・普及啓発
及び教育・関係機関との新たな連携

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 エイズ知識啓発普及事業 | 6 エイズ対策評価検討 |
| 2 「世界エイズデー」啓発普及事業 | 7 エイズ予防情報センター事業 |
| 3 啓発普及(パンフレットの配布等) | 8 血液製剤安全性情報システム事業 |
| 4 エイズ予防ポスター作製 | 9 青少年エイズ対策 |
| 5 空港でのビデオ等による啓発 | |

都道府県等によるエイズ対策促進事業

- ・エイズ対策推進のためのマンパワーの養成事業
- ・啓発普及活動事業
- ・エイズ治療拠点病院治療促進事業
- ・エイズ治療拠点病院医療従事者実地研修事業
- ・エイズ治療拠点病院カウンセラー設置事業
- ・地域組織等活動促進事業 等

エイズ予防指針改正（平成18年）の概要

現状

わが国におけるHIV・エイズの発生動向

- 新規感染者・患者の報告件数は依然と上昇
 - ・平成16年においては、初めて年間1,000件を超過し、累積でも10,000件を突破した。また新規感染者の増加率も上昇傾向にある。
- 最近の感染事例等の分析
 - ・2000年以降、特に地方大都市においても増加
 - ・この5年間は20歳代が全体の約35%、30歳代が約40%を占め、比較的若い世代を中心に感染拡大が進んでいる。
 - ・感染経路別では、性交渉による感染がほとんどを占め、特に男性同性間の性的接触が全体の約60%を占めている。

現状の問題点

- 全体の約1/3が診断時にエイズを発症している
 - ・早期発見、早期治療の機会を逸している例が多い
- 若い世代や同性愛者における対応が不十分
- 一部の医療機関へ感染者・患者が集中
- 国と地方公共団体との役割分担が不明確
 - ・互いの比較優位性を充分踏まえずに施策を実施
- 各種施策の実施状況等の評価が不十分

見直しにおける基本的な方向

- 疾患概念の変化に対応した施策の展開 ※「不治の特別な病」→「コントロール可能な一般的な病」へ
- 国と地方公共団体との役割分担の明確化 ※国：研究の推進、地方公共団体への技術的支援
地方公共団体：普及啓発、検査、医療提供などの施策を実施
- 施策の重点化・計画化 ※①普及啓発及び教育 ②検査相談体制の充実 ③医療提供体制の再構築

今後の主な具体的施策

普及啓発及び教育

- 《国が中心となる施策：一般的な普及啓発》
 - ・ HIV/エイズに係る基本的な情報・正しい知識の提供
 - 各種イベント、エイズ予防情報ネット、政府広報、ポスターコンクール等
 - 多角的な普及啓発事業の創設（公共広告機構と連携した普及啓発活動）
- 《地方自治体を中心となる施策：個別施策層に対する普及啓発》
 - ・ 青少年、同性愛者への対応
 - 青少年エイズ対策事業/同性愛者等予防啓発事業

検査・相談体制の充実

- 《国が中心となる施策：検査相談に関する情報提供》
 - ・ 検査手法の開発、検査相談手法マニュアル作成
 - ・ HIV検査普及週間（毎年6/1～7）の創設
 - ・ 検査相談に係る情報提供体制の再構築
- 《地方自治体を中心となる施策：検査・相談体制の充実強化》
 - ・ 利便性の高い検査体制の構築（平日夜間・休日・迅速検査等）
 - ・ 年間計画の策定と検査相談の実施

医療提供体制の再構築

- 《国が中心となる施策：グランドデザイン策定、新たな手法の開発》
 - ・ 中核拠点病院制度の創設
 - ・ 病診連携のあり方の検討→エイズ医療提供病診連携モデル事業の創設
- 《地方自治体を中心となる施策：都道府県内における総合的な診療体制の確保》
 - ・ 中核拠点病院の選定を始めとした都道府県内における医療体制の確保
 - ・ 連絡協議会の設置等による各病院間の連携支援

施策の実施を支える新たな手法

- 普及啓発等施策の実施におけるNGO等との連携強化（連携支援の核→エイズ予防財団）
- 関係省庁間連絡会議の定期的な開催による総合的なエイズ対策の推進
- 政策評価を踏まえた都道府県等に対する重点支援
 - 感染者・患者数の多い都道府県等への重点的な連携（16団体）

① 詳細データ HIV感染者及びAIDS患者の国籍、性別推移

診断区分	国籍	性別	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	合計
HIV	日本	男	0	0	34	15	35	27	52	108	102	134	147	189	234	261	379	336	475	481	525	636	709	787	5,666
		女	0	0	11	4	18	10	17	16	22	32	19	41	34	36	45	32	50	40	32	44	32	49	584
		計	0	0	45	19	53	37	69	124	124	166	166	230	268	297	424	368	525	521	557	680	741	836	6,250
	外国	男	0	0	10	4	21	11	26	45	33	37	47	65	49	58	39	53	59	55	48	62	60	76	858
		女	0	0	0	0	6	18	105	273	120	95	64	81	80	67	67	41	37	38	35	38	31	40	1,236
		計	0	0	10	4	27	29	131	318	153	132	111	146	129	125	106	94	96	93	83	100	91	116	2,094
合計		0	0	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	8,344	
AIDS	日本	男	5	3	6	9	15	18	24	36	53	91	108	156	170	158	212	239	221	232	252	290	291	335	2,924
		女	0	0	3	2	2	3	0	1	5	9	11	15	12	10	12	21	24	20	19	19	11	20	219
		計	5	3	9	11	17	21	24	37	58	100	119	171	182	168	224	260	245	252	271	309	302	355	3,143
	外国	男	1	2	3	3	4	10	14	13	19	28	33	45	39	42	46	41	61	36	39	54	49	33	615
		女	0	0	2	0	0	0	0	1	9	8	17	18	29	21	31	28	26	20	26	22	16	18	292
		計	1	2	5	3	4	10	14	14	28	36	50	63	68	63	77	69	87	56	65	76	65	51	907
合計		6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	4,050	

資料：厚生労働省エイズ動向委員会「平成18年エイズ発生動向年報」

(注) 凝固因子製剤による感染者・患者数を除く。

② 詳細データ ② 世界のエイズ患者の状況 (2006年末現在、UNAIDS/WHO報告)

地域	HIV感染者・AIDS患者数	新規HIV感染者数	成人HIV陽性率*	AIDSによる死亡者数
サハラ以南アフリカ	2,180—2,770万人	240—320万人	5.2—6.7%	180—240万人
北アフリカ・中東	27—76万人	41,000—220,000人	0.1—0.3%	20,000—60,000人
南・東南アジア	520—1,200万人	55—230万人	0.4—1.0%	29—85万人
東アジア	46—120万人	56,000—30万人	<0.2%	26,000—64,000人
オセアニア	50,000—170,000人	3,400—54,000人	0.2—0.9%	2,300—6,600人
ラテンアメリカ	130—250万人	10—41万人	0.4—1.2%	51,000—84,000人
カリブ海沿岸	19—32万人	20,000—41,000人	0.9—1.7%	14,000—25,000人
東欧・中央アジア	120—260万人	17—82万人	0.6—1.4%	58,000—120,000人
西欧・中欧	58—97万人	18,000—33,000人	0.2—0.4%	<15,000人
北アメリカ	88—220万人	34,000—65,000人	0.6—1.1%	11,000—26,000人
合計	3,950万人 (3,410—4,710万人)	430万人 (360—660万人)	1.0% (0.9—1.2%)	290万人 (250—350万人)

* 成人 (15—49歳)、2006年人口統計を利用して算出。

() 内の範囲に実際の数値が存在する。推計値・範囲は現在入手可能な最良のデータを基にして算出された。

資料：AIDS epidemic update - December 2006 (UNAIDS/WHO) による。